

長く寒かった冬から絶好のシーズンが到来しました。フレッシュマンもイキイキと社会に出て、企業の新しい活力になると意気込んでいると思います。自社の社員だけではなく、他社の社員さんも温かくみ守って育てて行きたいですね。 栩野

MMQCとは「もっと儲かる業務改善」で「業務改善は、人づくり、動きづくり」を実践する着実・前向き・具体的な活動です。

## 「ちょっとの差」の積み重ね効果

右掲は、Facebookに投稿されていた記事にあった写真です。勝山小学校の校長室に掲示されていた物とありましたが、もの凄い内容だと思います。写真にあるように、毎日、1%ずつ努力するのとさぼるのでは雲泥の差になると警鐘しています。しかし、現実的ではないのも事実です。毎日の努力を奨励するには、論理の飛躍を無視して誇張するのも有意義だと思います。果たして、小学生にどのように響くのかよく分かりませんが、校長先生のいわんとする事はよく分る気がします。

さて、この掲示物の内容はともかくとして、やはり、毎日の努力が重要であることには相違ありません。「継続は力なり」というように、ちょっとした事でも、人の365倍努力すれば、37.8倍の成果を得られるという事が可能になると思います。この事が重要なのだと思います。

現実のビジネス界で、ライバルとの差は1%に過ぎないと考えるのは妥当なように思います。例えば、1日8時間労働と条件でも、60分x8時間の1%は4.8分に過ぎないのです。この4.8分の上下の差は9.6分と倍化するのです。4.8分で出来ることを毎日実践するのと、やらないのでは、日を重ねる毎に格差になるのは必然の話です。1日5分、これって難しい事でしょうか。「微差」と言う範囲です。誰でも心がけ次第の事柄なのです。

ほうそく  $1.01$  の法則  $1.01^{365} = 37.8$   
こつこつ努力すれば、やがて大きな力となります。

ほうそく  $0.99$  の法則  $0.99^{365} = 0.03$   
逆に、少しずつさぼれば、やがて力がなくなります。

ある小学校に掲示されている法則  
Facebookの投稿記事より

## 寸暇の活用法で成果が大きく変わる

例えば、仕事に入る前に5分間のショートミーティングで相互の情報を共有化するという事だけでも大きな差がつくと思います。私は、サラリーマン時代から始業前に課員を集めてショートミーティングしていました。この習慣で、システム開発を担当していたのですが、ほぼ、予定通りの開発が可能になり、さらに、課題も切らす事がない状態で保つことができたという経験があります。しかし、多くのお客様では、ショートミーティングという概念ではなく、雑談状態で時間を流して情報共有化になっていないのです。

情報の共有化にも色々な局面があると思いますが、業務に関する「困りごと」を早期に察知して対策を講じるのがマネージャーの職責とするとショート・ミーティングは非常にシンプルかつ有効な手法であります。毎日の事ですから、担当者が口頭で報告すれば、すぐに対処できるのです。会議と構えて、資料で報告するという必要もないのです。マネージャーは、部下からの「異常」だけを察知して対応策を指示して、そのフォローの状況を記録に残すだけで十分なのです。

このように「ちょっとの差」は現場のちょっとした「やり方」で生まれる物なのです。「寸暇」も同じです。コーヒーを飲むのもよろしいでしょうし、また、お客様に様子伺いの電話を入れるのも効果的と言えます。大体、「寸暇」はお客様も同じようなタイミングであるケースが多いようです。タイミングがよければ「よくぞ電話してくれた」と歓迎されて、話の流れで新しい商談が生まれたりするものなので上手に寸暇を活用したいと思います。

### ワンポイント・アドバイス

#### 「ちょっとの差」

私は、「ちょっとの差」で大きなポイントは心のスイッチにあると思います。スイッチが入る事が分かれ目なので、例えば、午前中に1回はお客様に電話をかけるという風に決めておく寸暇の際に行動をお越しやすくなりますのでお試しください

